

校長室より(13) 「聞こえてきます こんな声 こんな音」

○今日も富士宮西高等学校のホームページを御覧いただき、誠にありがとうございます。

富士宮西高校の朝は早いです。

7時半に出勤しますと、テニスコート、グラウンドと「朝練習」に励む生徒たち。校舎内、例えば職員室前の自習コーナーには、早朝から自学に取り組む生徒の姿が。それぞれの西高生にそれぞれの目標があって、地道に一步ずつ「粘り強く」、努力を積み重ねていきます…。

真剣に何かを求める高校生の姿には、こちらの心に響くものがあります。

「西高生諸君、遠慮なく、目一杯、やってごらん。」「どこまでできるのか、みせてごらん。」

応援エールをそっと、贈らせてもらいます。

○5月を迎えました。

第4週の「中間試験」を挟みながら、6月6日(土)学校祭「紫翠(しすい)祭」文化の部(一般公開)、8日(月)体育の部 に向けて、準備・練習「熱」が、一段と高まる季節を迎えました。

「声」や「音」。普段から明るい西高生。今年は昨年以上に、こちらによく届いてきます。

体育の授業で、放課後の部活動で、元気よく汗を流す西高生。彼らの声が、グラウンドを走り抜ける足音が、コートからは軟式テニスの打球音などなど、校長室までしっかりと届いてきております。

何とも良いものです…。例えば、今は、といえば…。しっかりと聞こえてきております。

昼休み明けの、現在5時間目。グラウンドではハンドボール、キャッチボールの練習中。1年生の女子組。先生のホイッスル。相手の名前を呼ぶ声、それに応じる声。ボールの弾む音。そして「あー」とか「わあー」とか、時折聞こえる「笑い声」。これが良いですね。

心地よい風が吹いてくるグラウンドで、仲間といっしょに皆でボールを追いかける。

カーブ、ボールを投げて、相手からのパスをしっかりとキャッチして、チャンスを狙ってシュートを打つ。得点を決めても、枠を大きく外しても、「わっ、はっ、はっ!」「ごめんねえー!」

「すごーいっ!」そして「笑い声」。「拍手」も聞こえてきます。

「声」や「音」。笑顔にあふれた青春のひとつ。大事な宮西生活の一コマ(ひとコマ)です。

得手、不得手の別なく、できることを精一杯。仲間の姿に互いの良さを見つけて、(言葉に出さなくとも)互いに認め合う。相手の長所を認める、相手の考えを尊重する。時には自分から歩み寄る。3年間の高校生活、様々な場面を経験することで、その場、そのとき、どうしたらよいのか? 少しずつ、状況に応じた対応(振る舞い)ができるようになったとしたら、これもまた、大きな成長だと言えます。

宮西高の5月。伸び盛りの生徒たち。声を出し、汗をかき、精一杯チャレンジしてみる。

6月の学校祭「紫翠祭(しすいさい)」に向けて、良い準備をしていきましょう!

○関係者の皆様方、4月24日(金)第1回PTA後援会理事会へのご参加、誠にありがとうございました。今年度もよろしくお願い致します。

個別のやりとりの中で、富士宮地区公立高校4校連携のその後(現状)について御質問をいただきましたので、少し御紹介させていただきます。

はじめに学校行事関係です。新年度を迎え、北高、東高、富岳館高校は、6月実施予定の合同体育祭に向けて、準備に取り組みられています。一方、本校は今年度も同時期に「紫翠祭(しすいさい)」を予定。毎年、皆様には楽しみにしていただいております。合同体育祭は同時期の実施となることから、参加は見合わせます。紫翠祭については、昨年度2学期末、生徒会本部から「スローガン」が示され、西高生はそれ以降、準備を重ねてきております。今年度も各団体、部活動、有志による披露・発表が企画されており、今から大いに楽しみです。

探究活動では、昨年度2月、西高、東高の代表職員が、先進校視察ということで県外(福井県)を訪問させていただきました。4校の探究活動や課題研究への取組を共有する中で、各校の取組に改善を加えていくことが今後、期待されます。

そして4校合同部活動についてです。本校からは囲碁部が合同部活動として部員の募集を行ったところ、他校から1名、参加の希望がありました。放課後の部活動が楽しみなひとときに恵まれるよう、見守っていただけたいと思っております。合同部活動としての「はじめの一步」です。今後こうした「輪」がどこまで広がっていくか、見守っていききたいと思っております。

これからも本校の教育活動について、皆様からの御支援・御協力の程、よろしくお願い致します。

校長 鈴木邦浩